

性能向上と量産に対応した設計で高度成長期の大量需要に対応

登録番号	第 00336 号		
登録年月日	2022(令和4)年9月13日	登録区分	第一種(大量生産品等同様のものが複数あるもの)
名称 (型式等)	600形自動式卓上電話機		
所在地	東京都武蔵野市		
	NTT技術史料館		
所有者 (管理者)	日本電信電話株式会社 情報ネットワーク総合研究所		
製作者(社)	-		
製作年	1962~1979年		
初出年	1960年		
選定理由	<p>高度成長期の大量需要に応えた電話機である。1950年代初頭より電電公社の手により基礎研究を積み重ね、日本が本格的な高度成長期に入った1963(昭和38)年頃から複数の会社で量産された。基礎研究の聴覚心理グループが示す電話機の目標とすべき音響特性を参照して、電話機設計グループが電話機設計を行うといった基本検討を踏まえて設計され、性能を向上させた。大量生産を前提として自動化も視野に入れて、部品配置や組立方法に配慮した設計で量産された。高性能化と大量需要に対応した電話機として重要である。</p>		
登録基準	<p>一ーイ (科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの) 二ーイ (国民生活の発展、新たな生活様式の創出に顕著な役割を果たしたもの)</p>		
公開・非公開	公開		
写真			
その他参考となるべき事項			